

SDS 217 製品名 DR目地シール

安全データシート(SDS)

1.化学品及び会社情報

化学品等の名称	DR目地シール
製品コード	PK512
供給者の会社名	ビルトマテリアル株式会社
住所	東京都目黒区駒場3-12-41
電話番号	03-3460-3111
ファックス番号	03-3460-3110
電子メールアドレス	-
緊急連絡電話番号	-
推奨用途	-
仕様上の制限	-

本製品の組成及び成分情報、危険有害性情報、応急処置に関する情報、取扱い上の注意事項等については、次頁以降に記載された製品製造会社の安全データシート(SDS)をご参照ください。

本SDSは、国内法等の要求から、作成および改訂時において入手可能な最新情報をもとに製造元が作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅したものではありません。

新たな情報を入手した場合は記載内容を改訂します。また、記載のデータや危険有害性等の情報は、いかなる保証をなすものではありません。

当社が認めた仕様以外の特異な条件で使用するときは、取扱事業者において安全性を確認してください。

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	DR目地シール
製品コード	PK512
供給者の会社名	日鉄鋼板株式会社
住所	東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号
電話番号	03-6848-3700
ファックス番号	03-6848-3797
電子メールアドレス	-
緊急連絡電話番号	-
推奨用途	-
使用上の制限	-

本製品の組成及び成分情報、危険有害性情報、応急措置に関する情報、取り扱い上の注意事項等については、次頁以降のSDS(2項以降)に記載された内容をご参照ください。

本SDSは、国内法等の要求から、作成および改訂時において入手可能な最新情報をもとに製造元が作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅したものではありません。
新たな情報を入手した場合は、記載内容を改訂します。また、記載のデータや危険有害性等の情報は、いかなる保証をなすものではありません。
当社が認めた仕様以外の特異な条件で使用するときは、取扱事業者において安全性を確認してください。

安全データシート

製造者情報（緊急連絡先）

会社名：株式会社タケチ
 住所：愛媛県伊予市上吾川甲 1231 番地
 担当部門：伊予工場 材料技術 G
 電話番号：089-982-1131
 FAX 番号：089-946-7011
 作成日：2021年6月14日
 改定日：2021年9月10日

【製品名】（化学式、商品名等）

DR 目地シール EPDM スポンジ

【危険有害性の分類】

GHS 分類

本製品は、化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) に基づく危険有害性には該当しません。

危険性：特になし。

有害性：知見なし。

環境性：知見なし。

【組成および成分情報】

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名：エチレン・プロピレン・ジエン共重合物の混合物

成分 (化学名及び一般名)	官報公示 整理番号(化審法)	CAS No.	含有量 (%)	対象法令	GHS 分類
エチレン・プロピレン・ ジエン共重合物	(6)-47	25038-36-2	31	-	該当なし
酸化亜鉛	(1)-561	1314-13-2	1.6	安衛法	該当
カーボンブラック	対象外	1333-86-4	20	安衛法	該当なし
硫黄	対象外	7704-34-9	0.30	-	該当
ジブチルジチオカルバミン酸亜鉛	(2)-2122	136-23-2	0.31	-	該当
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェニアミド	(5)-256	95-33-0	0.1		該当
テトラメチルウラムジスルフィド	(2)-1820	137-26-8	0.25	PRTR 法 安衛法	該当
エチレンチオウレア	(5)-423	96-45-7	0.37	PRTR 法 安衛法	該当
酸化カルシウム	(1)-189	1305-78-8	1.6	安衛法	該当

各成分の GHS 分類通知詳細

成分	濃度	GHS 分類		区分
酸化亜鉛	通知対象	健康有害性	生殖毒性	区分 2
			特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分 1
		環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
			水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1
硫黄	通知対象濃度以下	物理化学的危険性	可燃性固体	区分 2
		健康有害性	特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分 1
			特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分 2
ジブチルジチオカルバミン酸亜鉛	通知対象濃度以下	環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
			水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1
N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	通知対象	健康有害性	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2 B
			皮膚感作性	区分 1
			生殖毒性	区分 2
		環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
			水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1
テトラメチルウラムジスルไฟト	通知対象	健康有害性	急性毒性 (経口)	区分 4
			急性毒性 (吸入:粉塵,ミスト)	区分 2
			眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2 A
			皮膚感作性	区分 1 A
			生殖細胞変異原性	区分 1 B
			生殖毒性	区分 2
			特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分 1
			特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分 1
		環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
			水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1
エチレンチオウレア	通知対象	健康有害性	急性毒性 (経口)	区分 4
			皮膚感作性	区分 1
			生殖毒性	区分 1 B
			特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分 1
		環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
酸化カルシウム	通知対象	健康有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
			眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1
			特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分 1
			特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分 1

【応急措置】

- 眼に入った場合 : 清浄な水にて十分洗眼する。必要に応じて眼科医の診断を受ける。
- 皮膚に触れた場合 : 人体への特別な影響はないが、必要に応じて石鹼を使って洗浄する。
- 吸入した場合 : 固形物につき該当しない。
- 飲み込んだ場合 : 水でうがいを。必要に応じて医師の診断を受ける。
-

【火災時の措置】

- 消火方法 : 注水、水噴霧、各種消火器等使用する。熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素、その他の有害ガスが発生する可能性があり、状況に応じて消火用防毒マスクや防火服等の保護具を着用する。
- 消火剤 : 注水、泡沫・粉末・炭酸ガスの消火器、防火砂などを用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし
-

【漏出時の措置】

- 飛散したものを掃き集め、適当な容器に回収する。
-

【取り扱い及び保管上の注意】

- 取り扱い : ①強い衝撃による梱包ケースの破損に注意する。
②加工・成形作業中に揮発分が発生する可能性があるため、必要に応じて局所排気装置等を使用する。
- 保管 : ①直射日光や雨にさらされない屋内で常温保管する。
②荷崩れを防止する為、段積みには十分注意の上出来るだけ低くする。
- 混合接触させてはならない化学物質 : 知見なし
-

【暴露防止措置】

- 許容濃度 : 認定されていない。
- 設備対策 : 局所排気装置等を使用することが望ましい。
- 保護具 : 必要に応じて、保護マスク、保護眼鏡、保護手袋、作業着、安全靴を着用する。

【物理／化学的性質】

物理状態 : 固体
色 : 黒色
密度 : 0.4 g/cm³
臭い : 微臭あり
溶解度 : 水に不溶
PH : 知見なし
可燃性 : 知見なし
動粘性率 : 知見なし
爆発下限界および爆発上限界 / 可燃限界 : 知見なし
引火点 : 知見なし
自然発火点 : 知見なし
分解温度 : 知見なし
相対ガス密度 : 知見なし
粒子特性 : 知見なし
沸点 : 知見なし
蒸気圧 : 知見なし
融点 : 知見なし
初留点 : 知見なし
揮発性 : 知見なし

【安定性および反応性】

反応性、化学的安定性 : 安定
危険有害反応可能性 : 知見なし
避けるべき条件 : 知見なし
混合危険物質 : 知見なし
危険有害な分解生成物 : 知見なし

【有害性情報】 (人についての症例、疫学的情報を含む)

刺激性(皮膚、目)	: 症例なし	慢性毒性	: 症例なし
皮膚腐食性	: 症例なし	がん原生	: 症例なし
感作性	: 症例なし	変異原性	: 症例なし
急性毒性	: 症例なし	生殖毒性	: 症例なし
亜急性毒性	: 症例なし	催奇形性	: 症例なし
その他	: — —		

【環境影響情報】

分解性	: 症例なし	魚毒性	: 症例なし
蓄積性	: 症例なし	その他	: 症例なし

【廃棄上の注意】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に準拠して処理する。

【輸送上の注意】

水漏れ、転落、落下、衝撃等は、梱包ケースを破損する可能性があるため、粗暴な取り扱いはしない。

【適用法令】

労働安全衛生法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【参考文献】

ポリマー、薬品：各配合薬品メーカーの SDS、JIS Z7253 : 2019 化管法に基づく、
SDS ラベル作成ガイド

[注意]

本 SDS は、JIS Z7253 : 2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いはご注意ください。

本 SDS の記載内容については、新しい知見がある場合には、必要に応じて変更してください。また注意事項などは、通常の手扱いを対象としたものですので、特別な手扱いをする場合には、用途の条件に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

※ JIS Z7253 : 2019 に準拠して作成しています。